

## No.024 垂れた絵の具の逆さ棒グラフ



塗りブラシツールを使うと、手書き風文字をうまくきれいに描くことができます。既存のフォントを使わないことによってオリジナリティ溢れるデザインができます。ちょっと変わったポップな棒グラフをつくりましょう。

**使用する主な機能**  
塗りブラシツール 消しゴムツール

**バリエーション**



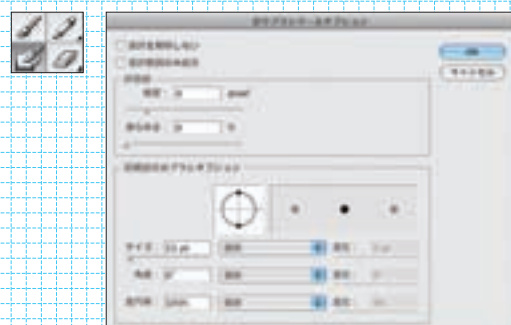
制作・文：小濱真吾 (sky visual works)

## ポップな文字を描く

**01** [ツールパネル] の「塗りブラシツール」 をダブルクリックして [塗りブラシツールオプション] ダイアログを表示させ、[精度：4 pixel]、[滑らかさ：0]、[サイズ：11 pt]、[角度：0°]、[真円率：100%] と入力して [OK] をクリックします。カラーを [線：C0 / M0 / Y0 / K100] に設定し、「COLOR RANKING」という文字を図のように1文字ずつ描きます。

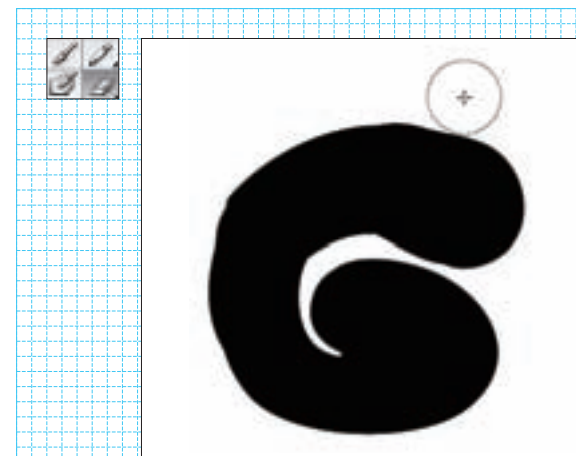
**CS3の場合**

「塗りブラシツール」はCS4で登場した新機能なので、CS3にはありません。CS3では、「ブラシツール」 で文字を描き、[オブジェクト→アピアランスを分割] を実行して手書き文字を作成してください (P.017参照)。

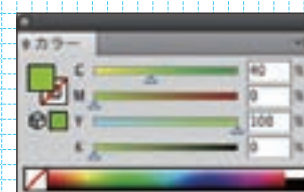


**COLORRANKING**

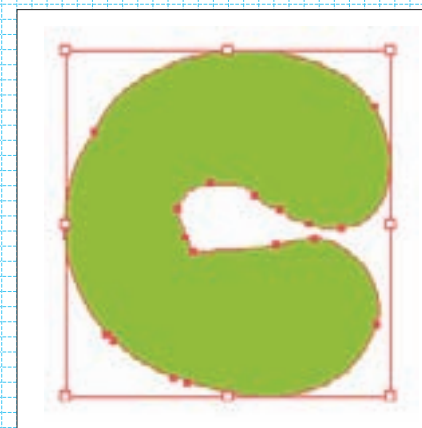
形の調整は後でできるので、多少のゆがみは気にしないでOK



微調整には消しゴムツールも使える



「C」のカラー設定



**COLORRANKING**

**COLOR RANKING**

**02** [塗りブラシツールオプション] ダイアログで、設定を [サイズ：9 pt] に変更し、「塗りブラシツール」 で塗り足すように文字の形を微調整します。消したい部分は「消しゴムツール」 で消します。

**MEMO**

手書き文字は「塗りブラシツール」、「消しゴムツール」でラインを整えることがかんたんにできます。

**03** 「選択ツール」 で1文字ずつ選択して、各文字のカラーを変更します。左から順に、

「C」… [塗り：C40 / M0 / Y100 / K0]

「O」… [塗り：C0 / M90 / Y0 / K0]

「L」… [塗り：C50 / M100 / Y0 / K0]

「O」… [塗り：C0 / M0 / Y100 / K0]

「R」… [塗り：C70 / M0 / Y0 / K0]

「R」… [塗り：C0 / M100 / Y100 / K0]

「A」… [塗り：C0 / M90 / Y0 / K0]

「N」… [塗り：C40 / M0 / Y100 / K0]

「K」… [塗り：C0 / M0 / Y100 / K0]

「I」… [塗り：C50 / M100 / Y0 / K0]

「N」… [塗り：C70 / M0 / Y0 / K0]

「G」… [塗り：C0 / M90 / Y0 / K0]

に設定します。「選択ツール」 ですべての文字を選択し、[整列パネル] の [垂直方向中央に整列] をクリックして一列に並べます。さらに「選択ツール」 で、各文字の間隔を詰めていきます。重なりあうように並べたら、左から2つめの「O」と「A」と「K」を「選択ツール」 で選択、[オブジェクト→重ね順→最前面へ] を実行します。文字をすべて選択して、**⌘+shift+G** (**Ctrl+Shift+G**) でグループ化しておきます。